

# 浜松西ロータリークラブ週報



Rotary 

2021～2022年度  
国際ロータリー会長  
シェカール・メータ  
第2620地区 ガバナー  
小林 聰 一 郎

Rotary International D2620 (静岡第5グループ)  
事務所 浜松市中区元城町109-18 〒430-0946  
例会場 ホテルコンコルド浜松 例会日 毎週金曜日12:30～13:30  
Tel:053-457-1116 Fax:053-455-4614  
E-mail : hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp  
会 長 渡邊記余子 幹 事 半場圭伊子  
クラブ報委員会 山下隆久 北野一正  
鷹見剛志 竹村寿文

第2087回 Vol.45-No.4 2021/7/28(水) 12:30～13:30 (晴)

浜松北RC・浜松西RC合同例会  
司会SAA 山本武彦君 (浜松北RC)  
点鐘 会長 飯尾哲秀君 (浜松北RC)  
ロータリーソング 「それでこそロータリー」  
ゲスト

国際ロータリー第2620地区 2021～2022年度  
小林聰一郎様 (第5グループ ガバナー)  
中尾 均様 (第5グループ 地区幹事)  
石津 匡美様 (第5グループ ガバナー補佐)

ビジター  
(浜松南RC) 野村忠己君 倉島良洋君 竹原 功君  
玉澤伸太郎君  
(浜 松RC) 平井正大君 後藤毅彦君 佐藤育男君  
海野俊也君 大西 晶君 田島忠和君  
(浜松中RC) 曾根原今朝敏君  
(パワー浜松RC) 牛田 悟君



出席報告 鈴木倫子君

会員数	総出席	当日出席率
51名	40名	85.11%

(免除者 15名) (事前MU 0名)

会長挨拶 渡邊記余子君

皆様こんにちは！今期会長を務めます渡邊記余子と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。コロナ禍の中、本日も皆様とともに例会が開催されることに感謝申し上げます。



先程まで小林ガバナーとの面談をさせていただき、これからのロータリーの在り方や西ロータリーの行く末など多面的にご指導や学びをいただきました、一つ気持ちを引き締める思いになりました。そして、今回の北ロータリーさんとの合同例会、私がロータリーに入って16年目になります初めての合同例会ではないでしょうか。ガバナーをお迎えする大変緊張する例会を親クラブであります北ロータリーさんと合同だという事が大変私にとってはラッキーなことで、会場の設営、食事の気配り、司会進行等すべての配慮をしてくださり、親クラブの北ロータリーの皆様とご一緒に大変心強く有難く思います。

今年は山梨に行く予定が幾度となくあり災害に弱い身延線の代わりに清水より高速道路が全面開通となり車で

の移動がたやすくなっていると聞いておりましたので、どなたか心強いナイトにお願いし山梨まで車で移動を考えておりましたが全部オンライン、山梨までは大変と思っていたのにいざ、行けないとなると残念!!に、変わっている都合の良い私の思いです。

地区大会も秋より来年の5月に変更となりましたので来年は行けるかも。この地区大会には皆様胸弾ませているのではないのでしょうか。未だ、先の見えないコロナにも対策しながらの開催かもしれません。地区大会だけでなく今年のあらゆる開催が成功いたしますことを心から願ひご挨拶とさせていただきます。

スマイルレポート 内藤久子君

◎渡邊記余子君 半場圭伊子君

小林ガバナー、中尾地区幹事、今日はお忙しい中お越しいただきまして、ありがとうございます。

◎飯尾哲秀君 (浜松北RC会長)

小柳守弘君 (浜松北RC幹事)

小林ガバナー、中尾地区幹事、石津ガバナー補佐、渡邊会長、半場幹事、本日はお忙しいところ誠にありがとうございます。一日どうぞよろしくお願ひ致します。



◎石津匡美君 (2620地区ガバナー補佐)

小林ガバナー、中尾地区幹事、渡邊会長はじめ浜松西RCの皆様、本日は私のホームクラブ浜松北RCへようこそ!!

会員一同皆様のお越しを大変うれしく思います。笑顔で暑さを乗り越えましょう。



本日のプログラム

発表者 小林聰一郎様 (国際ロータリー第2620地区2021～2022年度第5グループ ガバナー)

タイトル ガバナー公式訪問

共存の中にこそ自分を生かす道がある

私たちはクラブをかけがいのない場と思い、例会を友愛や学びの場として尊く思ってきました。そして互いを思いやりながら、その心を地域や世界に向けて視野を広げ、活動を広げてきました。日本的な感性でそのようなロータリーを形成し発展させてきたのだと思いますが、日本という風土に見事に適合したロータリーだと思っています。



一方世界的には、奉仕活動を主体にロータリーを考える傾向にあり、ロータリー財団のポリオ根絶を始めとする取り組みのように、より多くの会員でより大きな奉仕活動を目指すこととなります。実際世界では、それだけ多くのニーズが存在し、ロータリアンの支援を必要としていることも現実です。

ロータリーには最高絶対の単一概念が存在しません。常に「奉仕と親睦」「利己と利他」のように相対的に考えることを要求されますので、一つに決めつけるのではなく、日本的感性のロータリーと奉仕活動の世界のロータリーとを、どのように考えるのかということになります。

でもこれは今の私たちにとっては、相反することではありません。どちらか一方のロータリーしかないのではなく、その両方のバランスを上手にとりながらクラブに軸足を置いて、地域や世界で奉仕活動をしているという姿ではないでしょうか。当然クラブや例会を自己研鑽の機会と捉えてもいるでしょうし、人格形成の場ともしているでしょう。そしてそういう自分を他者のために活かすことも大きな使命と思っているのだと思います。一人では生きられない共存の中にこそ自分を生かす道があるということだと思います。

#### RI会長テーマ「SERVE TO CHANGE LIVES」

今年度のシェカール・メータRI会長はテーマに「SERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しよう—みんなの人生を豊かにするために」を掲げられました。そしてキーワードは「GROW MORE DO MORE」で、若い世代と女性をロータリーに迎え入れて会員基盤を強くし、人々の人生が豊かになるよう奉仕活動をしましょう、と要請されました。世界的なニーズに応えるロータリーの傾向に合致した年度テーマだと思います。

地区においてクラブにおいてこの要請をどのように具現化するのかということで、会員基盤の強化については私なりの取組方策を提示させていただき、ロータリー奉仕デーについては各クラブに計画・実施していただくこととしております。会長始め会員皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

#### Onlineで新たなつながりを

ワクチン接種が進んでいるとはいえコロナ禍で視界不良のクラブ運営になりますのでご苦労されると思いますが、クラブに軸足を置いた例会と奉仕活動のバランスを上手にとって、会員相互の連携を強め、地域や世界で奉仕活動をしてくださるようお願いいたします。

コロナ禍を経験した私たちは、onlineでの新たな繋が



り方を手に入れました。Online開催の地区RLIは何回もの実績を礎として、全国的にもトップクラスと高評価されていますし、各クラブにおいてもハイブリット例会やonline例会なども行われています。窮屈で不自由なコロナ禍でも人と人の繋がりには有効な方法ですので活用いただきたいと思います。

#### ロータリー未来形成 (Shaping Rotary's Future)

今年初めにRIは「未来形成 (SRF)」という新たなプラン概要を提示しました。主には2030年から始める管理方法改革のためのプランで、2022年4月の規定審議会での審議対象になると言われています。現在分っているのはここまでで、これから提示に対しての意見を取り入れながら形成されていくことですから、具体的にどのようなものになるのかは現状でははっきりしません。しかしこのようなロータリーの未来に向けての取り組みが始まっていることだけをご承知置きたいしたいと思います。今年度これがどのように動き、地区としてどのように対処していくのかも手探り状態ですが、将来の地区にとって不利にならないような検討だけはしていかなければならないと思っています。

クラブ会長、幹事を始め、会員の皆さまと一緒に、本年度の第2620地区が「GROW MORE DO MORE」出来ますよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



#### ◆本日の例会メニュー



カレーの香辛料揚げ  
豚フィレ肉と野菜の  
XO醬炒め 他